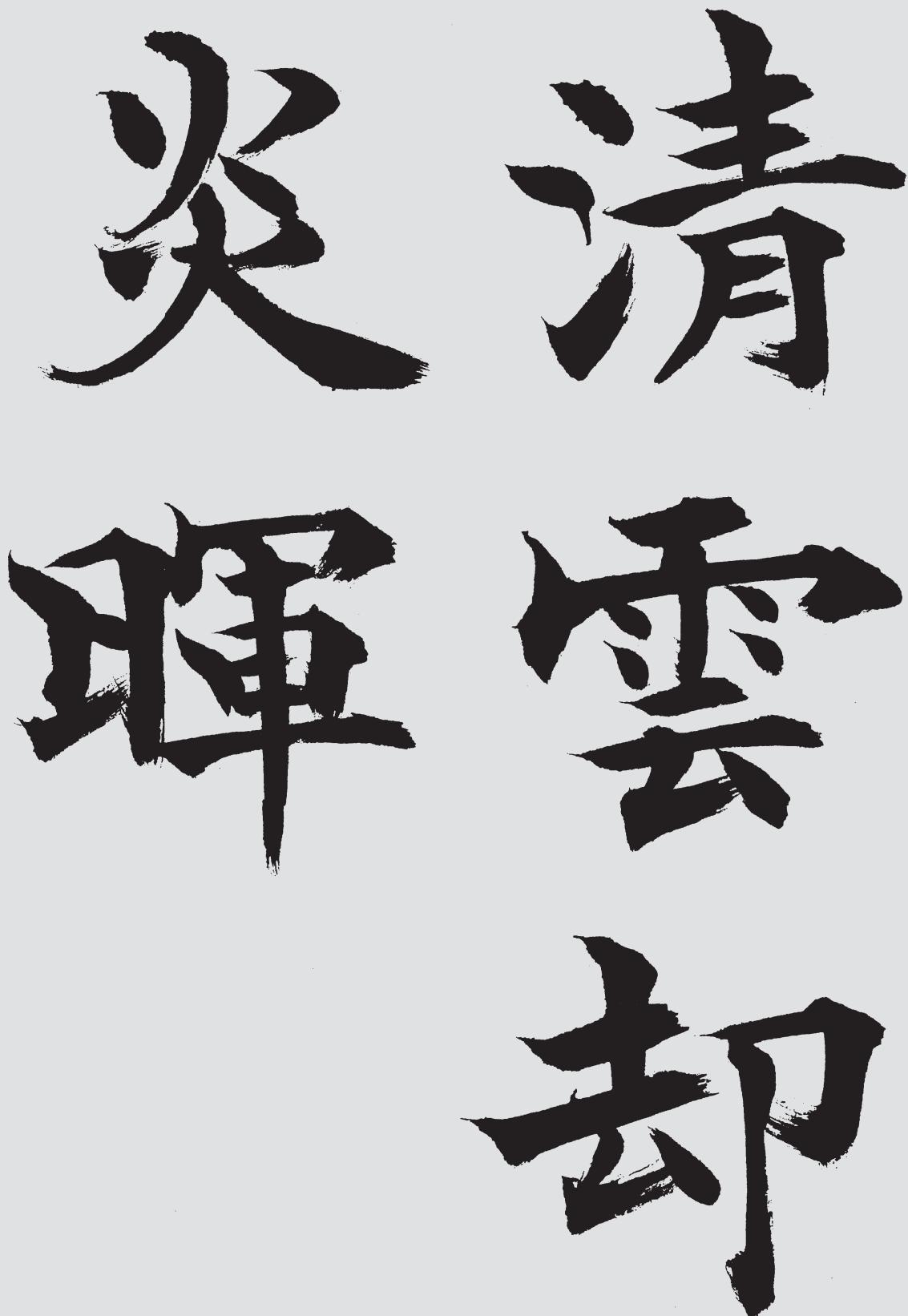


参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



清雲、  
炎暉を却ける

高木聖雨先生

# 参考 手本

※これは規定課題ではありません。



高木聖雨先生

# 条幅かな

見る人もなくて散りぬる奥山の紅葉はよるの錦なりけり（紀貫之）  
前後赤壁賦（元・趙孟頫）  
耶道士顧唉余亦驚寤開戶視之不見其處



浮 乘 清 鄉 先 生

# 条幅規定

C部（二段以下）

郊道士顧唉余亦驚寤開戶視之不見其處  
戶視之不見甚矣

道因法師碑（唐・歐陽通）

國公高士廉范陽公盧承慶及前後首僚并西

國公高士廉范陽公盧承慶及前後首僚并西

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(10月10日締切)

# 半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。



扶風隕麌侯相

扶風隕麌侯

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(10月10日締切)

## 半紙規定(二)

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）



清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔一級以下〕楷書

泰く、  
・慶は泉とともに流る。

泰慶與泉流

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(10月10日締切)

条幅参考手本

只有天在上更無山與齊舉

頭紅日近回首白雲低

厲跡

只有天在上  
更無山與齊  
舉頭紅日近  
回首白雲低

只だ天の上に在るあり  
更に山とともに齊しきなし  
頭を擧ぐれば紅日近く  
首を回らせば白雲低し

下村紫雲先生

遠山飛鳥絕  
閑庭落葉頻  
寂莫秋風裡  
獨立緇衣人

遠山飛鳥絶え  
閑庭落葉しきりなり  
寂莫たる秋風のうち  
ひとり立つ緇衣の人

板垣厲跳先生

# 条幅参考手本

秋浦田舎翁採魚水中宿

妻子張白鷗結置映深竹

遠島

小柳琅泉先生

秋浦田舎翁 採魚水中宿 妻子張白鷗  
結置映深竹

秋浦の田舎翁 魚を採りて水中に宿る 妻子は白鷗を張せんとし 置を結んで深竹に映す

主幹 菅野翠濤

石崖に子ども七八人腰かけて河豚を釣り居り夕焼小焼

白秋の歌  
翠濤

石崖に子ども七八人腰かけて河豚を釣り居り夕焼小焼（北原白秋）

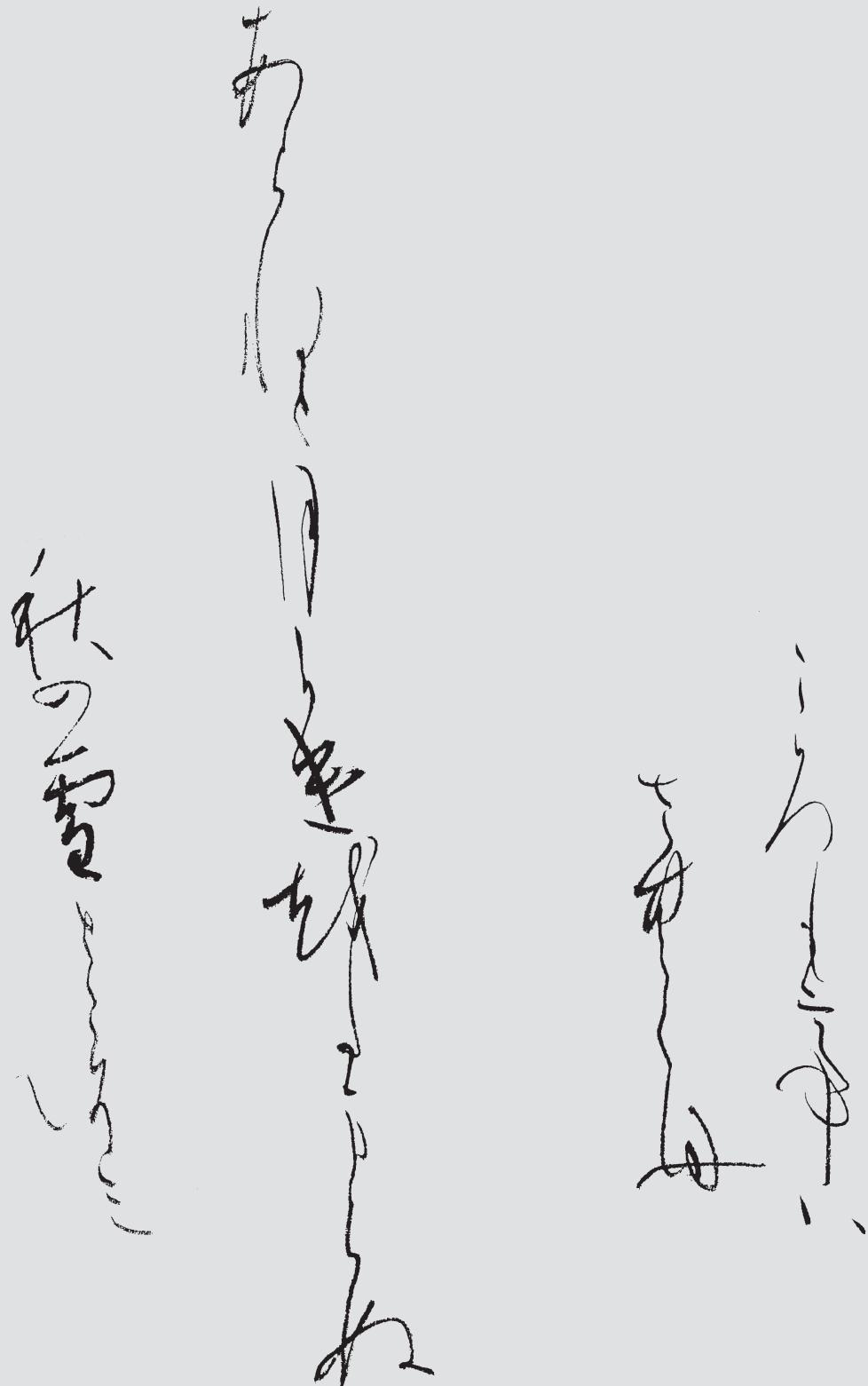
# 半紙かな(初段以上)

浮 乘 清 郷 先 生

衣  
手  
帝  
ハ  
母  
さ  
も  
あ  
ら  
ね  
ど  
月  
可  
影  
越  
多  
万  
秋  
の  
雪  
と  
こ  
そ  
曾  
三  
見  
れ  
(紀貫之)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

支部名 段 姓 号  
(鉛筆可)



(10月10日締切)

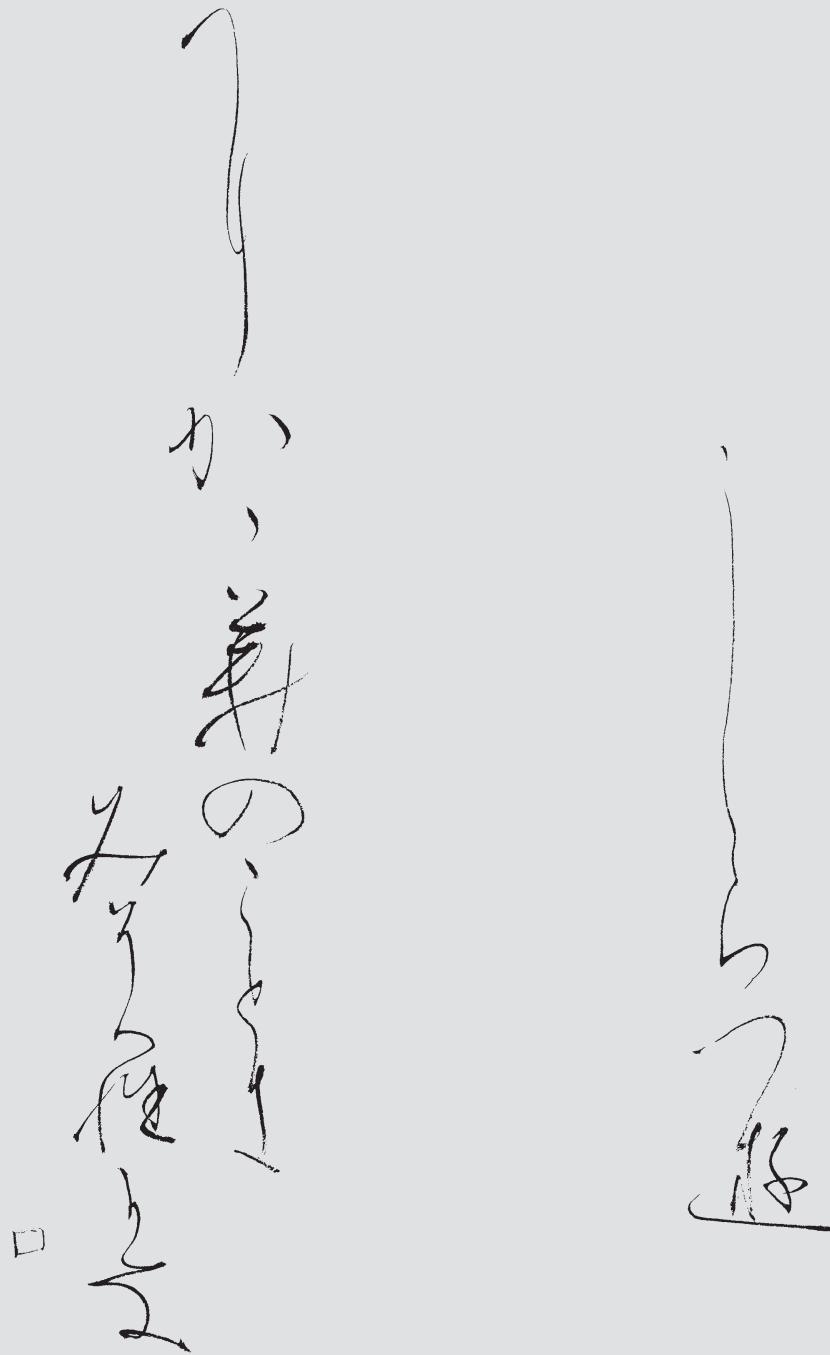
# 半紙かな（1級～8級）

白露に  
鏡のとき  
御空かな  
(川端茅舎)

支部名 級 姓 号  
(鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

若月久美子先生



(10月10日締切)

## 実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

秋深の太鼓の音が青、月の  
光にゆらめく。夜が重けれど  
ゆく度は自身も心も静けり  
かえり夜の呼吸を聞こむ  
松虫草のうす茶が美しい。

支那名 段 姓号

山田翠臯先生

(10月10日締切)

## 実用文（二段以下）

かへりみすれば佐保姫の高き宮殿

の大柱齊らうたらゝ老松の青空

ちあき、尾上より千尋の谿に落つる

ごと春の枝は仆れけり

支部 段、級 姓号

〈書風任意〉かへりみすれば佐保姫の……千尋の谿に落つる……仆（たお）れけり

島崎藤村詩 朝の歌より

渡邊南嶂先生

(10月10日締切)

# 字

兄 弟 姉 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒  
兄 弟 姐 妹 幼 女 愛 猫 男 兒

支 部

段

姓

号

名前は必ず楷書  
17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

※一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。  
愛 あい  
猫 びょう  
かわいがっている猫。

## 硬筆（初段以上）

青 柳 江 雲 先 生

秋は春と並んで手紙を出したう。もう一たう  
する機会の多い時季です。旅行やりふに  
誇つたり、旅先で書く手紙、秋の感覚を贈る  
にあたっての手紙などとにかく四季の中で  
手紙が一番書ける季節だとひそむ。

支部名

段

姓  
号

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

秋来ぬと目にはさやかに見えねども  
風の音にぞ驚かれぬる。(藤原敏行)

本院定型用紙・たて半分に書く

齊 藤 翡 流 先 生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

号

秋来ぬと目にはさやかに見えねども  
風の音にぞ驚かれぬる(藤原敏行)

齊 藤 翡 流 先 生

(10月10日締切)

中2用

支部名

段級

名

前



中3用

支部名

段級

名

前



(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

小6用

支部名

段級

名前

の牧朝場

朝平霞山先生

中1用

支部名

段級

名前

秋の休  
育祭

小4用



小5用

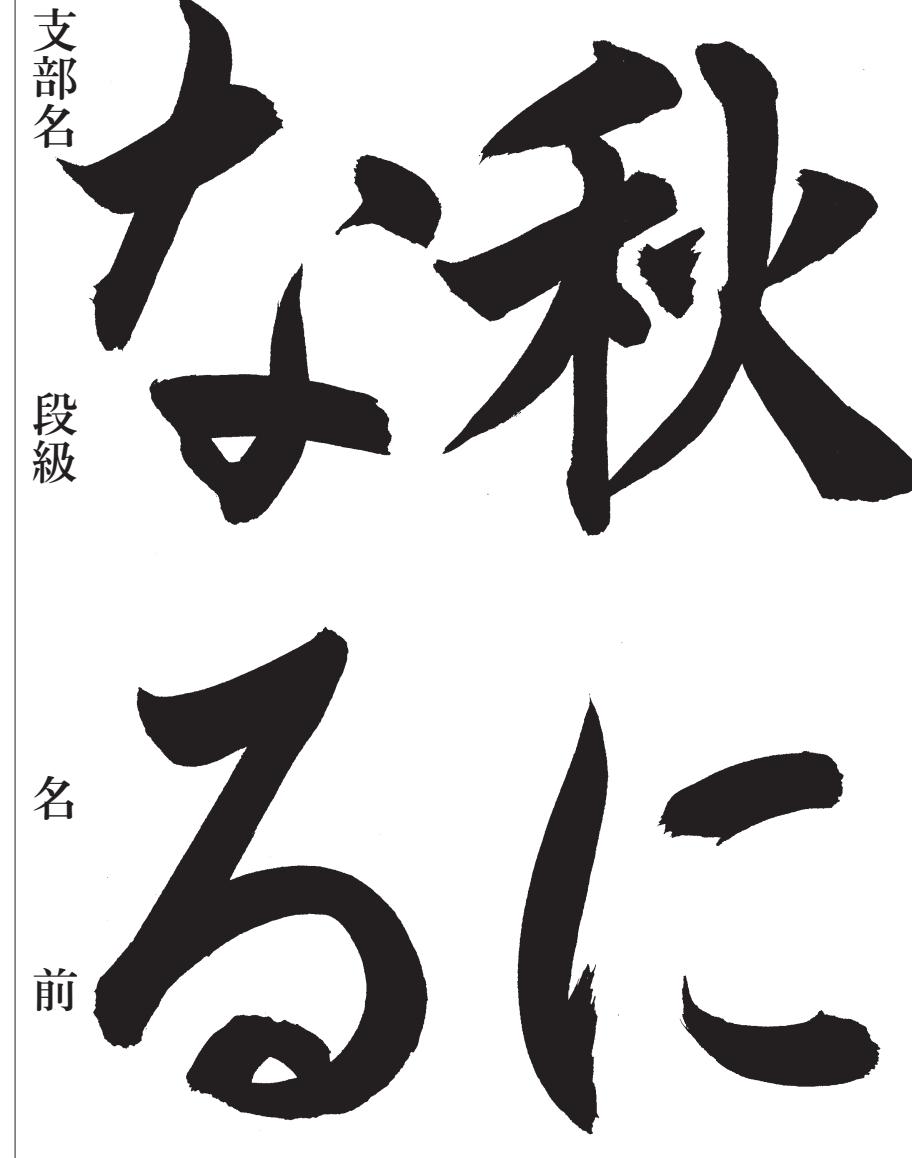


(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

小2用



小3用



(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

中 1

書き終えた手紙は、  
る前にもう一度読もう。折

中 2

目標を立て、達成のた  
めに工夫と努力をする。

中 3

日本は落葉樹の種類が  
多いので紅葉が美しい。

小1・幼年用

支部名

段級

名前

かいじ

小1・幼年

みかづきのかたちをか  
いてみました。

小 2

九月に入ると、そらが  
たかく見える。

小 3

本間くんから、すず虫  
を二ひきもらつた。

小 4

休みの日、樂しみにし  
ていた魚つりをした。

小 5

ススキが秋風にそよい  
で銀色に光っている。

小 6

秋は文化祭や遠足など  
行事がたくさんある。

小1～小3

齊藤翡翠先生

小4～小6

若月久美子先生

先生

(10月10日締切課題並びに後期昇段級試験課題)

## 小学部小筆課題

支部名

段級

名前

星空に  
十五夜の月

主幹 菅野翠濤

季語 「秋のくれ」

元禄七年九月廿五日付曲翠宛書簡に出る。秋の夕暮の道を帰って行く人々の声がある。いつになくなつかしく感じられる、の意。芭蕉はこの翌月十二日に没している。

## 中学部かな課題

支部名

段級

名前

この道  
かづる秋のれ

人声や

船久保棠苑先生